事例No.	2435
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	大野地区公民館

事例区分	地域活性化

タグ	・移住定住 ・地域運営組織 ・観光

事例種類	移住・定住促進

事例内容・タイトル

「大野はこうありたい～10年計画を活かした大野づくり～」

出典

平成27年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域自立促進連盟 会長賞

鹿児島県垂水市

大野地区公民館

「大野はこうありたい ～10年計画を活かした大野づくり～」



地区手作りの祭りである「大野原いきいき祭り」会場風景。毎年地区住民の 10 倍以上の来場者で賑わう。つらさげ芋を中心に、地区の特産品などを販売。

事例の概要

垂水市の中山間地に位置する大野地区は、市内全 9 地区のモデル地区として、地区住民が検討を重ね、平成 22 年度に地域振興計画「大野づくり計画」を作り上げた。この計画の中では、「わたしたちは大野の人をふやしたい（住む人・来る人）」を一番の願いとして掲げており、この目標に向かって住民自らが行動し、地区が抱える人口減少の課題に立ち向かっている。

大野地区公民館では、特産品として定着してきた「つらさげ芋」を目玉に、地域住民の手作りのイベントである「大野原（うのばい）いきいき祭り」を開催し、地域に人を呼び込んでいるほか、地域の魅力に惹かれた若者を受け入れるため、空き家を活用した定住の促進にも取り組むなど、「人をふやしたい」という地区の大きな目標に向かって前進している。



大野地区公民館のみなさん

評価のポイント

大野地区は、大正３年に発生した桜島噴火の被災者が入植した開拓村である。気候を生かした農林畜産業が盛んな地域で、現在は約 80 世帯が暮らしている。平成に入った頃から少子高齢化による影響が徐々に顕在化し、平成 18 年には大野小・中学校が閉校になるなど、人口減少の影響を受けていた。

このような中、垂水市では、第４次総合計画に「市民との協働のまちづくり」を掲げ、地区公民館単位での地域振興計画の策定を目指していた。そこで、市は旧来から住民活動が活発であった大野地区にモデル地区として計画の策定を打診し、これを受けて「自分たちが暮らす地区がどうありたいか」について地区住民が話し合いを重ね、２年７か月の年月をかけて地域住民の思いが込められた「大野づくり計画」の策定に至った。

大野づくり計画の計画期間は 10 年間であり、その中で「わたしたちは大野の人をふやしたい（住む人・来る人）」という地区住民の一番の願いが掲げられており、その実現に向けた取組が行われている。

こうした中で、平成 22 年から開始した「大野原（うのばい）いきいき祭り」は、特産品のつらさげ芋や地域の農産物を販売する年に一度の物産市であり、毎年 1,500 人もの人が訪れている。この「つらさげ芋」は、サツマイモを一か月以上寒風にさらし、より甘くさせた大野地区伝統の保存食であり、大野地区では生産体制の拡大やブランド化を目指している。

また、市のまちづくり交付金を活用した空き家のリフォーム事業による定住の促進や、大野地区、垂水市及び鹿児島大学が連携し、廃校となった小・中学校に「自然学校」を設置することにより、環境教育を通じた、大学生、児童生徒、地域住民及び一般市民の体験学習の場を設けている。

このように、本事例は、地区住民が策定した「大野づくり計画」に基づき、その目標に向かって主体的に取り組んでいる点が評価された。つらさげ芋のブランド化などの取組を始めとして、大野地区の今後の更なる活動の広がりにも期待したい。



大野地区ではからいも生産組合を立ち上げ、共同管理している。つらさげ芋の増産や貯蔵施設が整備されたことによる安定した供給が可能になった。



集落内の空き家を住民の力で改修、大野への移住を決めた市外出身の若者延べ５名を受け入れている。県・市の支援事業を活用し、平成 24・25・27 年度で３軒のリフォームを完了。



毎年秋に地区内の大羽重（おおばえ）神社で行われる豊年祭では、地域住民に加え、鹿児島大学の現役学生が伝統の奉納棒踊りの練習を重ね、多くの来訪者の前で披露する。

DATA

鹿児島県垂水市（たるみずし）

団体名●大野地区公民館
所在地●〒891-2104　鹿児島県垂水市田神3688番地
連絡先●TEL：0994-32-0156（大野地区公民館別館）　FAX：0994-35-0230
E-mail:t_onoesd@city.tarumizu.lg.jp　URL:http://www.unobai.com/

【交通のご案内】
自動車●九州自動車道　溝辺鹿児島空港ＩＣから約1時間30分
国道220号　垂水市役所から約20分



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
32,721	24,179	20,107	18,928	17,248

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-47.3	-28.7	-14.2	-8.9

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
35.0	10.3